

ポジウム、職員のレクリエーション（作品展示会等）及び学生の課外教育活動（発表会、作品展示会等）に利用された。

(3) 宿泊室については、本学招へい講師、国際会議及び学会等の参加者に利用された。

現時点において、開学時の大学会館の使命は十分達成できたと考えられる。一方、今後の課題としては、以下のようなものがあげられる。学園都市建設から30年経った今日、大学周辺は大幅に都市化され文化施設もほぼ整備された状況となってきたことから、今後の大学会館主催事業等の在り方を再検討していく必要がある。また、大学会館の設備備品等は開館初期に設置したものが多く、大部分が20年以上経過しており、劣化が著しいため、これらを計画的に更新・改修し、利用者の要望にも応えていく必要がある。同様に宿泊室の設備備品等についても老朽化が顕著であり、年次計画による改修整備が必要である。

10.3 広報活動

1 広報活動の現状

【基本方針】

情報化社会と呼ばれている今日、本学の実態を正しく社会に伝達するため、学内外の広報紙（誌）や報道機関を通じ、本学の教育・研究・社会貢献活動を積極的に紹介する。また、先導的な大学改革を実践している本学の経験と成果についても紹介し、我が国の大学が目指している諸改革に貢献する。

【体制】

広報・公開室は、企画調査室との関係のもと、学内外に対する広報活動の企画立案、広報刊行物に関する連絡調整及び報道機関との連絡等を行う。

【実施状況】

- (1) 「筑波大学概要」、 「同ポケット版」（年1回発行）、 「筑波大学リーフレット」（年1回発行）、 「筑波大学学報」（毎月1回発行、号外3回）、 「速報つくば」（年間23回、号外4回、特集号3回）、 「筑波大学新聞」（年8回発行）、 などの刊行物を発行した。また、「大学公式ホームページ」の管理運営、大学見学の受入れ（44件、2,220人）及び報道機関等への情報提供を通じ、学内外への広報活動を積極的に行った。
- (2) 公式ホームページでは、内容を充実しユーザーの利便性の向上を図る観点から、次の事項を実施した。
 - ① 卒業式、入学式、大学説明会及び開学30周年記念式典の様子を中継及びビデオ配信した。
 - ② ホームページ内検索システムを導入した。
 - ③ トップページコンテンツを6個に絞り、全階層を整備し直した。
 - ④ 訪問者別コンテンツを用意した。
 - ⑤ 更新情報を設置した。
 - ⑥ コンテンツの内容ごとに、見出しに使用する色を統一した。
 - ⑦ 現在の表示コンテンツがホームページの何処に属するかを表示するサイドバーを設けた。
 - ⑧ 本学学生歌のビデオに、歌に合わせた歌詞挿入を行った。
 - ⑨ 将来、動画による本学紹介を行う準備として、教育機器センターに対して筑波キャンパス及び東京キャンパスの施設等の画像収集を依頼した。
- (3) 例年どおり学園祭に参加し、「筑波大学広報コーナー」を設け、次の広報活動を積極的に展開し、3日間で延べ600人の来場者を得た。
 - ① 筑波大学紹介ビデオの上映
 - ② パソコンを利用した本学ホームページの自由閲覧
 - ③ 各学群・学類案内等各種刊行物の展示及び配布
 - ④ アドミッションセンター教官による入試相談
 - ⑤ 筑波大学新聞編集協力学生による在學生と近隣の高校生等との対談

(4) 筑波研究学園都市記者クラブとは、定例記者会見（11回）及び臨時記者会見（入試関係等9回）を行った。また、新聞、テレビ等による本学の教育・研究・社会貢献の諸活動に対する報道機関の取材（146件）が活発に行われ、積極的な情報提供を行った。

2 自己評価と課題

平成14年度に引き続き広報・公開室において公式ホームページのより一層の充実を課題として掲げ、前述の新たな手法を用いた学内外への情報発信及び迅速な内容更新を行うことができた。新聞、テレビ等の報道機関に対しても、本学の教育・研究・社会貢献の活動状況に関する情報を積極的に提供するなど、広報活動は順調に行われたと評価できる。また、国立大学法人化後の広報体制の在り方を策定するためのWGを設置し、検討の結果を「広報体制の在り方について（案）」として取りまとめた。

今後の課題としては、以上のことを踏まえ、より効率的な広報体制を整備し、新しいIT技術の導入・マスメディアの活用など、広報手段の多様化を図り、本学における教育・研究・社会貢献の活動状況及びその成果を、社会に対してタイムリーに発信できる、より効果的な広報活動を推進したい。

さらに、広報手段の一つである公式ホームページをより魅力的なものにするため、ビジュアル面の強化、双方向的処理が可能なCGI等の更なる整備を行うとともに、より一層積極的に広報活動を推進するための安定的な予算措置が望まれる。